

City Museum Letter

NEW

ART

EXHIBITION

WORKSHOP

EVENT



Vol.3

きっかけは



「ポムポムプリン」



リ..そもそも、イラストレーターになろうと思ったきっかけは？

や..小学生の時に「ポムポムプリン」が好きで、「このイラストを描く仕事はなんだろう?」という疑問から、「イラストレーター」という職業を知り小学校6年生の卒業文集で将来の夢は「イラストレーターになる」と書いたのがきっかけです。

リ..ポムポムプリンがきっかけに! 当時から絵を描くのが好きだったんですね。

や..そうですね。小学生の時はイラストクラブに所属していました。

リ..では、中学では美術部だったんですか？

や..それが、吹奏楽部だったんです。でも、週に1回絵の教室に通っていました。そこから、高校は芸術コースのある学校へ進学し、ジブリ作品にはまって、「アニメーター」になりたいと思い、大学は、映像などが学べるメディア造形学科に進学したんです。でも、デジタルで絵を描くにつれて、アナログで描きたい!という気持ちが大きくなり、手で描くことの楽しさを再発見したんです。

るくん誕生!!



リ..もしや、るくんはその時に? や..実は、るくんの原型ができあがったのは大学受験の最中なんです。



ともよさんが描いた
メニュー表



店内の様子
ともよさんの絵が店内に飾られていました。

大学受験で疲弊していたときに、るくを描いて、「がんばれ〜」とふき出しをつけたり…。それをみて「がんばれるかも!」と思っていました。
リ..るくんに励まされていたんですね。
や..そうですね。るくとは20年近くの付き合いになります。

下積み時代を支えた山正亭

リ..大学を卒業されてイラスト関連の会社に就職されたんですか？

や..実は、就職先が全然なくて、最初は、東京や名古屋の会社を受けていたのですが…とごとく、落ち…。決まらないまま大学を卒業してしまつて。そんな時、母が駅前の山正亭さんで展示ができるみたいだよと教えてくれてお店へ相談に行つたんです。

はじめて展示させていただいたのは、大学の卒業制作と、山正亭さんの料理をイメージしたるくのイラストでした。そこから年に一度山正亭さんで展示をさせてもらっています。初めてお仕事をいただいたのも、山正亭さんのお客さんからでした。ほかのお仕事も山正亭さんからのご縁でいただくことが多くて、本当に感謝しかありません。山正亭さんのメニュー表や商品のレシピカードも描かせていただいています。

リ..そうだったんですね。焼津の人たちとのつながりで、今のやまむらさんがあるんですね!

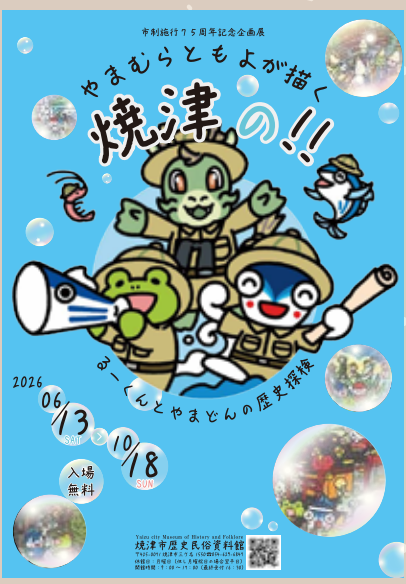
焼津から世界へ!!



や..そうですね。学生時代はなぜか「イラストレーター」の仕事は、東京や名古屋に行かないといけないではないか!と思つていて、でも、焼津で展示をさせていただいたり、お仕事をいただいたりしていく中で、「焼津でもイラストレーターの仕事はできるんだ!」と発見があり、「焼津の人たちに支えられて、ここまでこれた」という気持ちです。

リ..これからは、「るくと一緒に全国へ焼津のPRをするお手伝いをしたい!」と思つています。

リ..ぜひ! 焼津を全国、世界に紹介したいと思います!



【企画展】

市制施行75周年記念企画展

「やまむらともよが描く 焼津の!!」るくんとやまじんの歴史探検—

開催日…10月18日(日)

時間…9時〜17時

場所…焼津市歴史民俗資料館

入館料…無料

休館日…月曜日(但し月曜祝日の場合は翌平日)





現在、焼津市歴史民俗資料館では、

焼津市制施行75周年記念企画展

「やまむらともよが描く焼津の!!」るくんとやまどの歴史探検」を開催中。

焼津市出身のイラストレーターのやまむらともよさんが描いた焼津の風景、歴史、産業などと共に、写真や資料を展示しています。

今回はイラストを描かれたやまむらさんの原点を探っていききたいと思います。

やまむら ともよさん…や 取材者…リ



焼津神社の拝殿の前にてやまむらともよさんとかえるの〜くん

ともよさんの「焼津の!!」は？

や…焼津神社ですね。

小さなころから神社は遊び場でした。

小学生の頃は、友達と学校が終わった後に集合して、鬼ごっこやかくれんぼ、ケイドロなどをして遊びました。

水産翁の碑のところで走りまわったり…今考えたら、罰当たりですよ…

子どもが生まれてからは、親子でよく遊びに来ます。私が子どもの頃は焼津神社例大祭（荒祭）の獅子木遣りに参加していました。懐かしいですね。

仕事でも本当にお世話になっていて、お守りや七五三の袋をデザインさせていただいたり、焼津神社さんで行われていたマルシェの実行委員に入って、いろいろな方と知り合うきっかけをいただきました。

リ…やまむらさんにとって焼津神社はたくさんの思い出や、縁をつないでもらった場所だったんですね。

や…そうですね。



獅子木遣りに参加した時のともよさん



ともよさんが友達とかくれんぼなどをした水産翁の碑



神社にご挨拶にいくと、鈴木宮司と仲良くお話をはじめられました。

ここでは、自称「文豪やまどん」が、おすすめの本をご紹介します！
今回おすすめの本は・・・

思ひ出の記



『思ひ出の記』小泉セツ / 著、一條裕子 / 絵、ヒヨコ舎・星雲社、2003

ぼくの一番お気に入りのエピソードは、八雲怒りの手紙だよ。外国の出版社と交渉をする際、挿画や表題のことで出版社が一方的に決めてしまうことがあり、八雲さんはこれによく怒っていたんだって。そして、怒りのままに激しい手紙を書くと、すぐに郵便に出すようセツさんへ言ったんだ。ところが、2・3日もすると、あまりにも激しい手紙だったろうかと悔やみ、セツさんへ「ママさん、あの手紙出しましたか」と聞くと、セツさんは「ハイ」と答え：この続きは是非自分で読んでみてね♪

見た目や年齢の離れた二人が、そんなことが霞むほどにおしどり夫婦であったと分かるはずだよ。

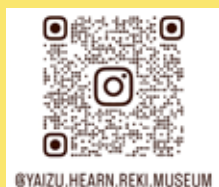
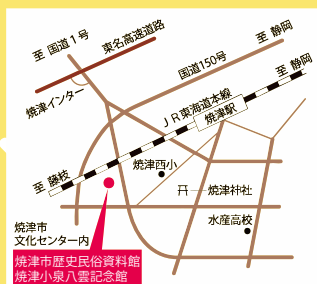
記念館閲覧コーナーや焼津図書館にも置いてあるから、是非読んでみてね♪

ココを読んで！

この本はね、明治の文豪小泉八雲さんとの思ひ出を、妻・小泉セツさんが書き記したものととなっているよ。思ひ出は、日本に来て松江の学校で教師をすることになった八雲さんとセツさんが出会ったところから始まって、八雲さんが亡くなって雑司ヶ谷に葬られたことで締めくくられているんだ。

この本の魅力は、片意地で好き嫌いが激しく、人付き合いを好まなかった八雲さんの知られざる一面が生き生きと思い起こされていることだよ。夫婦としての八雲さん、家族としての八雲さんが様々なエピソードとともに描かれているよ。

どんなお話？



【発行・問合せ】

焼津市生きがい・交流部文化振興課 資料館担当
〒425-0071 静岡県焼津市三ヶ名 1550

☎ 054-629-6847

表紙写真：焼津神社

発行日：2026年9月



おすすめ

本

01



やまどんおすすめの本にも登場する焼津ゆかりの小泉八雲さん。

焼津小泉八雲記念館では9月12日(土)から「作家×猫」をテーマにした特別展「文豪は猫がお好き―物語のそばにはいつも猫。」を開催するよ♪

【次回 焼津小泉八雲記念館 特別展】

「文豪は猫がお好き―物語のそばには、いつも猫。」

開催日…9月12日(土)～令和9年2月28日(日)

時間…9時～17時

場所…焼津小泉八雲記念館

入館料…無料

休館日…月曜日(但し月曜祝日の場合は翌平日)

